様式第６号（第１０条関係）

土砂等の埋立て等に係る土地使用同意書（地位承継）

　土砂等の埋立て等の地位承継の承認を申請しようとする者（　　　　　　　　　　　　　　　　　）の行う土砂等の埋立て等については、下記の留意事項を了承の上、私の所有する次の土地の使用について同意します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 土地の所在地及び地番 | 地目 | 登記簿上の地積（㎡） |
|  |  |  |
|  |  |  |

　また、同意の前提として、上記の土砂等の埋立て等の地位承継の承認を申請しようとする者から、次の事項について　　　　　年　　月　　日に説明を受け、その内容を確認しました。

①　氏名及び住所（法人にあっては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地）

②　尾鷲市土砂等の埋立て等の規制に関する条例第８条の許可を受けた者の氏名及び住所（法人にあっては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地）

　ここに同意したことを証するため、署名します。

　　　　　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　土地の所有者　住　所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名

（法人にあっては、その名称、主たる事務所の所在地及び代表者の氏名）

（注）土地の所有者が法人の場合は、署名に代えて記名押印を行うことができる。

【同意に当たっての留意事項】

１　土砂等の埋立て等を行うことについて同意をした土地の所有者は、次のことを行わなければなりません。

(1)　土砂等の埋立て等が行われている間、毎月１回以上、当該埋立て等の施工状況を確認すること。

(2)　(1)の確認の結果、許可の内容と明らかに異なる土砂等の埋立て等が行われていることを知ったときは、直ちに、当該土砂等の埋立て等を行う者に対し当該埋立て等の中止又は原状回復その他の必要な措置を講ずることを求めるとともに、速やかにその旨を市長に報告すること。

(3)　埋立て等区域において、土砂等の崩落、飛散又は流出による災害が発生し、又はそのおそれがあることを知ったときは、速やかにその旨を市長に通報すること。

２　１(1)の確認又は１(2)の報告を怠った場合には、土地の所有者は、必要な措置を講ずるよう勧告又は命令（その勧告に従わない場合）を受けることがあります。

３　２の命令に違反した土地の所有者は、６月以下の懲役又は50万円以下の罰金に処されることがあります。

|  |
| --- |
| 尾鷲市土砂等の埋立て等の規制に関する条例（抜粋）  （土地の所有者の同意）  第10条　申請予定者は、あらかじめ、規則で定めるところにより、当該申請に係る埋立て等が行われる土地の所有者に対し、当該申請が第12条第１項の規定によるものである場合にあっては同項第１号から第11号までに掲げる事項を、同条第２項の規定によるものである場合にあっては同項第１号から第４号までに掲げる事項を説明し、その同意を得なければならない。ただし、申請予定者と土地の所有者が同一であるときは、同意をしたものとみなす。  ２　第15条第１項の変更許可の申請をしようとする者は、あらかじめ、規則で定めるところにより、当該申請に係る埋立て等区域内の土地の所有者に対し、同条第２項第１号及び第２号に掲げる事項を説明し、その同意を得なければならない。ただし、申請予定者と土地の所有者が同一であるときは、同意をしたものとみなす。  ３　第25条第１項の承継の申請をしようとする者は、あらかじめ、規則で定めるところにより、当該申請に係る埋立て等区域内の土地の所有者に対し、同条第２項第１号及び第２号に掲げる事項を説明し、その同意を得なければならない。  （土砂等の埋立て等に係る土地の所有者の義務）  第28条　第10条又は第10条の２に規定する同意をした土地の所有者は、当該同意に係る土砂等の埋立て等が施工されている間、規則で定めるところにより、定期的に、その施工の状況を確認しなければならない。  ２　前項の同意をした土地の所有者は、同項の規定による確認の結果、埋立て等許可又は変更許可の内容（第10条に規定する同意をした場合におけるものに限る。次条第１項第１号において同じ。）又は埋立て等届出若しくは変更の届出の内容（第10条の２の同意をした場合におけるものに限る。第29条の２第１項第１号において同じ。）と明らかに異なる土砂等の埋立て等が行われていることを知ったときは、直ちに、当該埋立て等を行う者に対し当該埋立て等の中止又は原状回復その他の必要な措置を講ずることを求めるとともに、速やかにその旨を市長に報告しなければならない。  ３　第１項の同意をした土地の所有者は、当該同意に係る埋立て等区域の土砂の崩落、飛散又は流出による災害が発生し、又はそのおそれがあることを知ったときは、速やかにその旨を市長に通報しなければならない。  （土砂等の埋立て等に係る土地の所有者に対する勧告及び命令）  第29条　市長は、第26条（同条第２項を除く。）の規定による命令（土砂等の埋立て等の停止の命令を除く。）をしたにもかかわらず、当該命令を受けた者が期限までにその命令に係る措置を講じないときは、当該命令に係る土砂等の埋立て等について第10条の同意をした土地の所有者で次の各号のいずれかに該当するものに対し、当該命令に係る措置を講ずるよう勧告することができる。  (1)　前条第１項の規定による確認（当該確認を行うべき時期において、埋立て等許可又は変更許可の内容と明らかに異なる土砂等の埋立て等が行われていた場合のものに限る。）を怠った者  (2)　前条第２項の規定による報告を怠った者  ２　市長は、前項の規定による勧告を受けた者が当該勧告に従わない場合であって、その者に対し、当該勧告に係る措置を講じさせることが相当であると認めるときは、当該勧告に係る措置を講ずべきことを命ずることができる。  第39条　次の各号のいずれかに該当するときは、その違反行為をした者は、６月以下の拘禁刑又は50万円以下の罰金に処する。   1. 第29条第２項又は第29条の２第２項の規定による命令に違反した者 2. (略)   尾鷲市土砂等の埋立て等の規制に関する条例施行規則（抜粋）  （土地の所有者による土砂等の埋立て等の施工状況の確認）  第28条　土砂条例第28条第１項の規定による施工の状況の確認は、次に掲げる事項について、当該施工に係る埋立て等区域において、毎月１回以上、行わなければならない。  (1)　当該施工の状況が土砂条例第10条各項又は土砂条例第10条の２各項の規定による説明を受けた内容に相違していないこと。  (2)　当該埋立て等区域において土砂等の崩落、飛散若しくは流出による災害の発生又はそのおそれがないこと（土砂条例第10条の同意をした場合に限る。）。  ２　前項の場合において、当該埋立て等区域において確認することが困難な事情があるときは、土砂条例第28条第１項に規定する土地の所有者は、他の者に確認させることにより行うことができる。 |